大門高校生の課題研究報告会 in 県庁

令和７年２月３日（月）１５：３０～１６：１０

@県庁本館5階共創スペース「コクリ」

1　本取組みの趣旨・目的

就職期の女性に選ばれる職場環境づくり

◆富山県にUターン就職しなかった理由

（R４富山県Ｕターン調査
対象：2022年3月県外大学等卒業の県内出身者）

①現在の居住地の方がプライベートで刺激が得られる
40.4%（男34.2%、女42.9%）

②富山県に志望する**業種がなかった**
28.7%（男19.7%、**女33.6%**）

③富山県に志望する**職種がなかった**
25.1%（男21.1%、**女27.1%**）

中高生の段階から富山の魅力的な企業や働き方について知ってもらうことで、将来の就職期に、
富山を選択肢の１つにしてもらう

2　R⑥の取組み

① 「中高生×富山で働く女性」交流会

② 学校オーダーメイド型講座

「中高生×富山で働く女性」交流会①

■日時・場所
参加企業

①８月 ６日（火）黒部会場：K-HALL 2階マルチホール	
・藍染め屋aiya(起業家)	・アグリライズ南保(農業)
・スギノマシン(製造業)	・トヨックス(製造業)
②８月 ９日（金）高岡会場：御旅屋セリオ 4階TASU	
・タカギセイコー(製造業)	・日本ソフテック(情報通信業)
・日の出屋製菓産業(食品・小売業)	・ファミーユ(起業家)
③８月19日（月）富山会場：TOYAMAｷﾗﾘ 9階ﾌｧｰｽﾄﾊﾞﾝｸｷﾗﾘﾎｰﾙ	
・andUS(ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業)	・AWS(情報通信業)
・富山第一銀行(金融業)	・リッチェル(製造業)
・富山県庁	

■参 加 者：**県内在住の中高生　計51名(黒部:18名、高岡:19名、富山:14名)**

■企画運営：**県内大学生が企画から当日運営まで参画**
(企画座談会10名、当日運営9名参加)

■内　　容：アイスブレイク（動画制作）
ワークショップ・座談会
（進学・進路、キャリア等の意見交換）

県内大学生との企画座談会の様子

「中高生×富山で働く女性」交流会②

■参加中高生の意見

・富山にも幅広い業種・職種の会社や働き方があることを初めて知った。

8月 9日（金）高岡会場：御旅屋セリオ 4階TASU

8月 6日（火）黒部会場：K-HALL 2階マルチホール

・自分が知らないだけで、やりたい職業が富山にあるのではないか、もっと富山の会社を知りたいと思った。

・県外へ行きたい気持ちが強かったが、富山でキラキラ輝いている社会人の姿を見て、富山で働くのもいいなと思った。

8月19日（月）富山会場：TOYAMAｷﾗﾘ 9階ﾌｧｰｽﾄﾊﾞﾝｸｷﾗﾘﾎｰﾙ

「中高生×富山で働く女性」交流会③

■交流会の様子や参加生徒が働く女性にインタビューした動画を制作しました！

交流会動画は
コチラから

R6.8.6：黒部会場

R6.8.9：高岡会場

R6.8.19：富山会場

学校オーダーメイド型講座

本報告会の位置づけ

○学校オーダーメイド型講座・交流会等

・県職員等の派遣による人口減少、女性活躍などを考える導入講座の実施

・探究的な学習やキャリア教育における女性活躍等をテーマとした研究指導の実施

【出前講座等】富山北部、富山いずみ、魚津、国際大付属、富山、高岡南

【探究的な学習等の研究指導】大門

探究的な学習の研究指導・企業訪問（大門高校）

課題研究報告会（大門高校）

探究的な学習では、生徒たちの希望に基づき、
・探究テーマに係る企業向けアンケート設計支援
・企業へのアンケート協力の調整
・アンケート結果を踏まえた今後の活動方針のアドバイスなどを実施

探究的な学習テーマ：富山県で働く女性を増やすには

課題設定	・富山県の若者世代の県外転出が多いのは何故か? ・富山県にも魅力的な企業があるのではないか？
仮説設定	・就職期にある若者が働きたくなる会社がないから ・大都市の方が娯楽が多く、便利だから ・就職の選択肢も多く自分の可能性にチャレンジできるから
検証手法	・県調査や北陸経済連合会調査などの文献調査 ・県内外で働く女性に就職場所を選んだ理由をアンケート調査 ・県内で活躍する女性社員へのインタビュー、企業訪問
課題解決策	・県内に幅広い業種の魅力的な企業がたくさんあり、若者が活躍できることを若者世代、特に高校生に対して動画で発信・ＰＲ